

経営比較分析表（令和6年度決算）

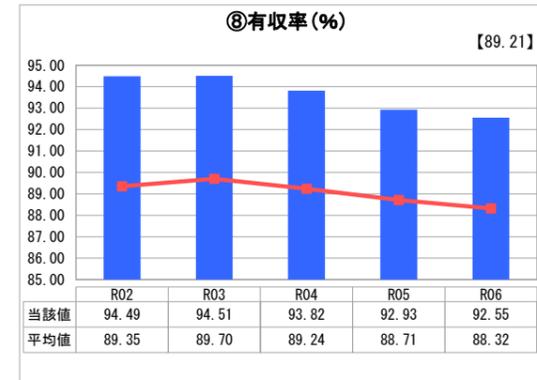
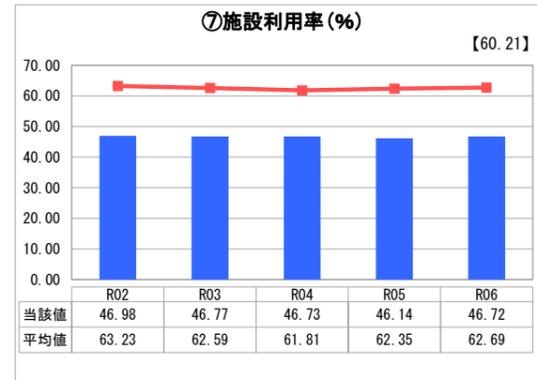
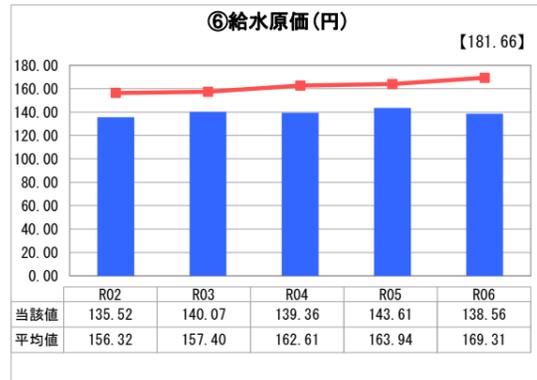
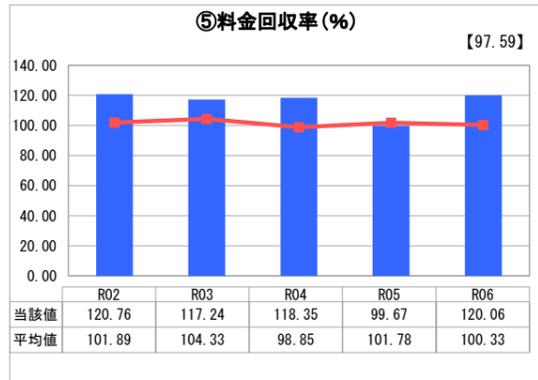
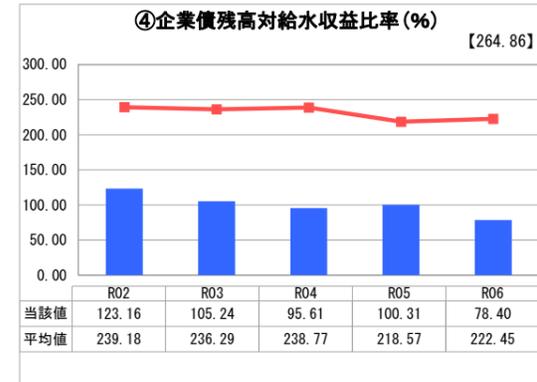
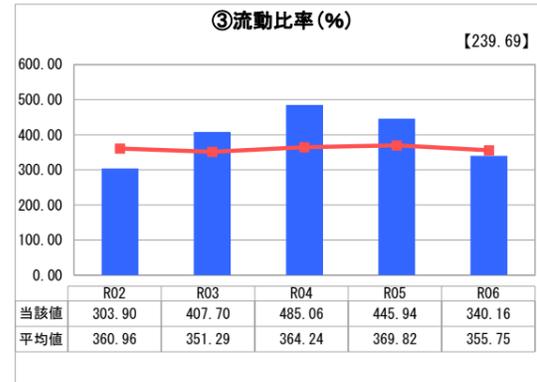
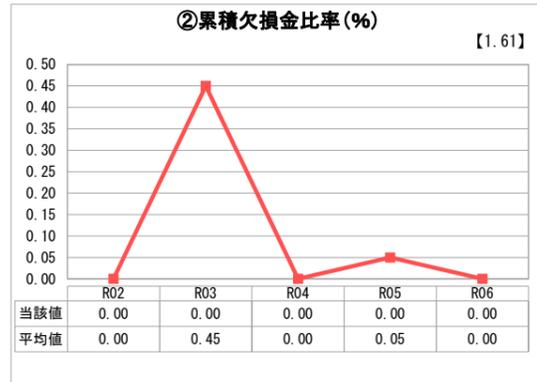
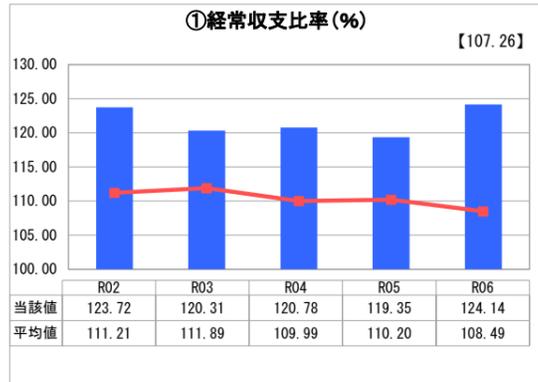
石川県 小松市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	87.77	99.84	2,900	

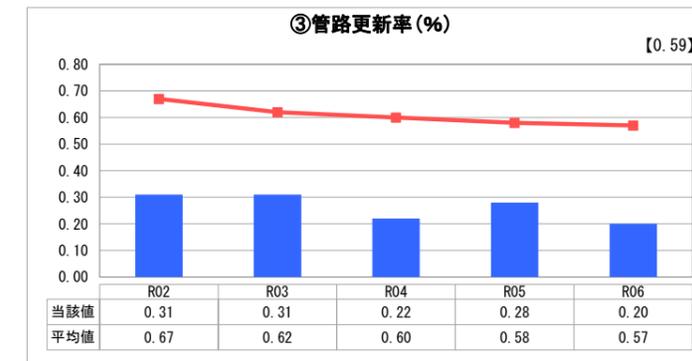
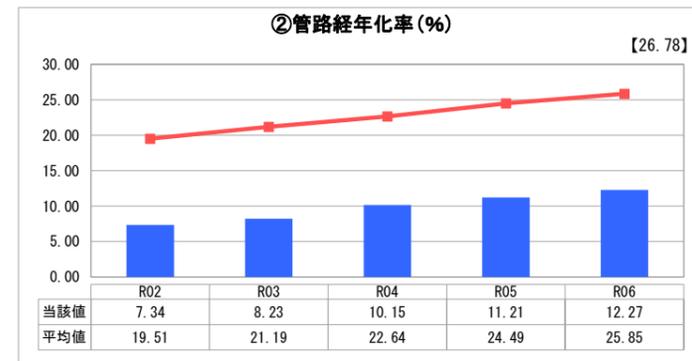
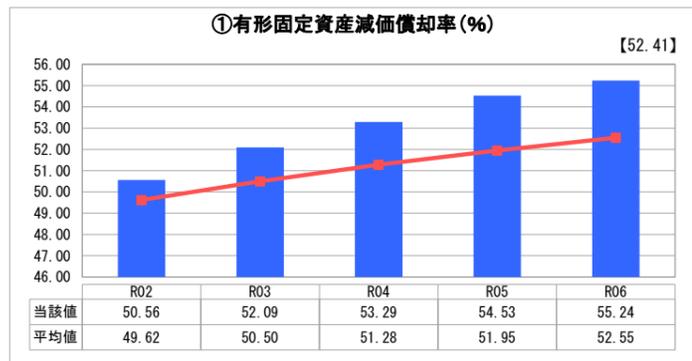
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
105,475	371.05	284.26
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
104,896	166.81	628.84

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

水道事業の収入については、少子高齢化による人口減少や節水機器の普及による水需要減により減少していくことが見込まれます。その中で、より効率的な施設の更新やライフサイクルコストを意識したインフラの整備の必要性が高まっています。このような中でも直近5年間の経常収支比率は、いずれも100%を超えており安定的に健全経営を行うことができています。

料金回収率については、令和5年度に大幅に減少していますが、主な原因として、エネルギー価格高騰による市民等の経済負担を軽減するため、水道料金の減免を行ったことによるものです。

低い施設利用率については、石川県水、川北水系、上清水水系の3つの水源を持っているという小松市の特殊性であり、震災や渇水に強いという側面もありますので、この部分は残しながら施設のダウンサイジングを検討し施設利用率が向上できるよう努めてまいります。

また、有収率については、減少傾向にあるものの、全国的に見ても高い水準を維持していることから、今後も漏水対策に努め高い収益性を維持していきたいと考えています。

2. 老朽化の状況について

過去5年間の管路経年化率は全国平均に比べ低い値で推移しているものの、今後10年間では法定耐用年数を経過するものが多く存在しており上昇傾向が続くことが見込まれます。今後の管路更新には多くの費用が発生することが見込まれ、また給水収益が減少していくなかでより効率的なアセットマネジメントが要求されています。

平成27年度に策定したアセットマネジメントを令和7年度に更新予定であり、効率的な資産管理を行うべく努めているところです。

全体総括

先にも述べたように今後の水道事業は、より一層の収益性の低下が見込まれます。収益性が低下することによる料金単価の上昇や資金不足による施設老朽化の上昇を招くことなく、安全安心で持続可能な経営を行っていく必要があります。それには、より一層の経営の効率化が求められます。既存の考え方にとらわれることなく様々な方策を検討してまいります。